

プロジェクト名	大津駅再生検討プロジェクト会議	
設置日	平成26年2月10日	
目的	中心市街地活性化のための重要な拠点であるJR大津駅を再生するため、駅及び駅周辺の「望ましい姿」「求める機能」を検討するとともに、活性化方策を提案する	
活動内容 (予定含む)	①大津駅の再生に向けた「望ましい姿」「求める機能」の検討 ②大津駅の再生に向けた取り組み内容の検討 ③大津駅周辺の利活用・活性化方策の検討	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	☒ (基本方針1) 大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化 ☐ (基本方針2) 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出 ☐ (基本方針3) 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり 【該当事業又は関連事業】	
人数	7	
リーダー	安孫子邦夫	中央学区自治連合会 会長
サブリーダー	片岡 信雄	逢坂学区自治連合会 会長
プロジェクト委員	山本 進一	(株)まちづくり大津 取締役
	石川 順三	一般社団法人大津市商店街連盟 理事長
	白井 勝好	NPO法人大津祭曳山連盟 理事長
	田中 眞一	公益社団法人びわ湖大津観光協会 事務局長
	松澤 秀夫	大津市都市再生課 課長
適用・特記事項		

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	大津駅再生検討プロジェクト会議
-----------	-----------------

年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 （実績）	①賑わいと活性化に向けた『望ましい姿』『求める機能』の検討	—
平成26年度 （予定）	①賑わいと活性化に向けた『望ましい姿』『求める機能』の検討 ②大津駅周辺の利活用・活性化方策の検討 （JR大津駅～湖岸への誘導方策の検討）	予算額：50,000円 内訳： ②利活用・活性化方策検討 50,000円
平成27年度 （予定）	①大津駅周辺の利活用・活性化方策の検討 （JR大津駅～湖岸への誘導方策の検討）	
平成28年度 （予定）		
平成29年度 （予定）		

JR 大津駅舎改修について

(1) 経過

昭和50年 3月 現大津駅舎竣工（開業）

平成24年11月 駅舎内における市のテナント業務撤退について議会報告

平成25年 2月 大津駅舎改修に向けJRと市と勉強会を開始

平成25年11月 JR大津駅利用者等に対するニーズ調査実施

・調査期間：平成25年11月8日～11月22日

・調査結果（有効回収数：1,831件）

平成25年12月 ニーズ調査結果報告

ニーズ調査結果に基づく市としての取り組みの方向性

・建物の外観の改修 ・観光案内所 ・バリアフリー対応
・多機能トイレ ・琵琶湖への眺望や交流・憩いのための空間の確保
・駅前広場の再整備（別途検討）

平成26年 3月 2月通年議会 施設常任委員会で現状報告

関係団体との協議状況等

・中心市街地活性化協議会議関係（平成25年12月～ ）5回

・大津商工会議所関係（平成25年12月～ ）2回

(2) JRとの協議状況及び課題等

○協議状況

- ・駅舎改修計画
- ・駅舎の外観改修
- ・観光案内所

○課題等

- ・大津駅舎はJR所有施設
- ・市の費用負担

(3) 課題等に対する市の考え方

- ・国の支援制度の活用の可能性についてJRと検討を進める。

(4) その他の課題

- ・駅周辺の賑わい及び活性化策について官民連携のもと具体的に進める。

JR大津駅 駅舎 現況写真

(全体)



(北側より)



(北西側より)



(西側より)



第2期中心市街地活性化基本計画

(基本理念)大津百町と琵琶湖を舞台とした暮らしと交流の創造都市へ
 (基本方針)大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化
 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出
 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり

